

2025年4月1日

定年年齢延長、70歳までの雇用継続を視野に入れた諸施策について

高年齢者雇用安定法の改正に伴い、この4月から65歳までの雇用確保が義務化される中で、当社は、4月1日より、現行60歳である定年年齢を段階的に65歳へ延長するとともに、定年退職後の再雇用制度についても、一定の要件を満たせば最長70歳までの継続雇用が可能となる制度へと見直すことといたしました。

<定年年齢の延長>

定年年齢	65歳とする（現行60歳） 2025年度から2033年まで2年ごとに1歳ずつ延長し、2033年度に65歳とする
------	--

<定年後再雇用制度の見直し>

定年後再雇用の 上限年齢	70歳とする（現行65歳） 定年後再雇用の開始年齢（現行60歳）は、2025年度から2年ごとに1歳ずつ延長し、再雇用期間の上限年齢（現行65歳）については、2030年度から2年後ごとに1歳ずつ延長する
処遇	定年後再雇用者により一層の働きがいを感じてもらおうべく、年収ベースで平均約20%強の増額（再雇用後の職務内容によっては最大約30%の増額）となる処遇アップを行う

当社は2025-2027年度中期経営計画「変革への挑戦 KX2027」をスタートしたところですが、その基本方針の一つである「経営基盤強化」において「社員エンゲージメント向上（EX）」を掲げ、経営目標の一つとして「社員エンゲージメント指標」を設定しました。当社のありたい姿の一つとして「**皆が働きがいを持ち、幸せになれる会社**」を挙げており、社員の働きがい・生きがいを重要視しています。また、KPIとして「ワークライフバランス指標」を掲げ、健康管理・健康増進を一層充実させるとともに、70歳までの就業のみならずリタイア後までを視野に入れたライフデザイン研修を本年4月からスタートする社内大学「広栄 MANABIYA」の中で実施していく予定です。

中期経営計画の実現、延いては長期ビジョンである「KOEI Vision 2030」の達成に向けて、社員一人ひとりがこれまで培ってきた人脈や経験・ノウハウ、知識・スキルといった貴重な無形資産を活用して、思う存分力を発揮し、イキイキと元気に働けるような機会を提供してまいります。

以上